

Fujitsu Software Systemwalker as a Service

ご紹介資料



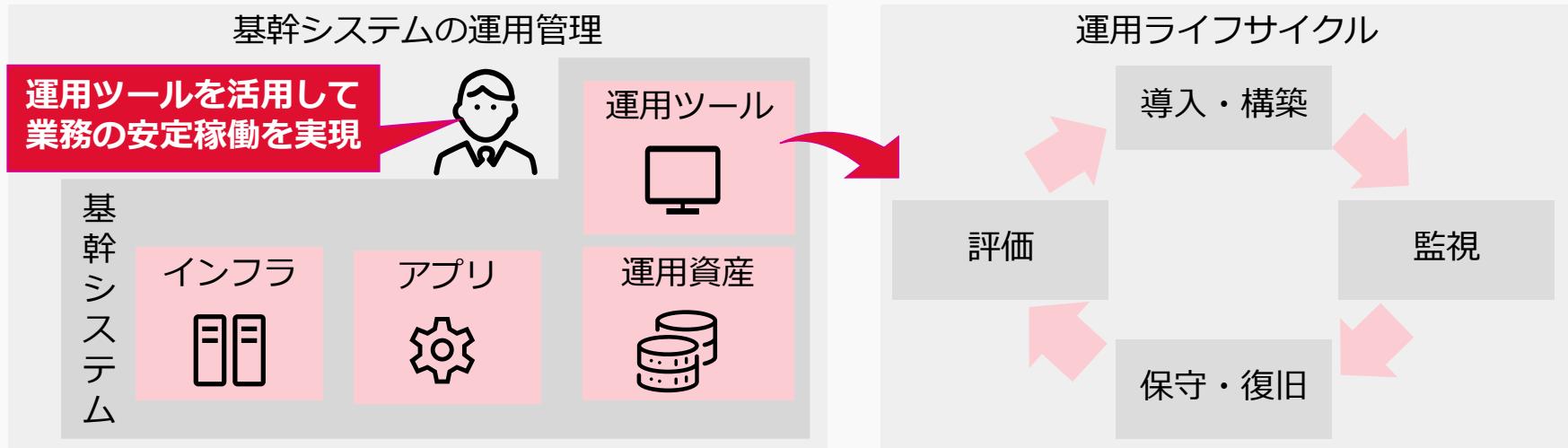
2025年9月
富士通株式会社



基幹システムの運用管理とは

FUJITSU

お客様の環境変化に依らずに、基幹システム上で業務が安定稼働するように運用ライフサイクル(導入・構築、監視、保守・復旧、評価)をまわし続けること



富士通は古くから基幹システム向けの運用ツールとして、
Systemwalkerを提供することで基幹システム上の業務の安定稼働を実現

将来のDXを見据えた基幹システムのクラウド活用が加速

政府の動き

クラウド利用推進の ガイドライン

コスト削減やセキュリティ向上のため
インフラとアプリの同時刷新による
クラウドシフトを推奨

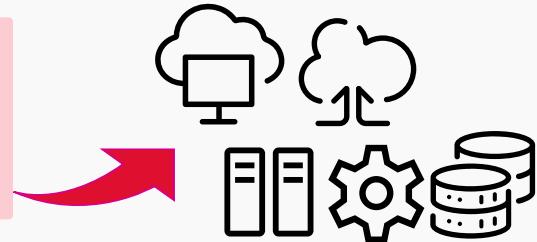
経済安全保障推進法

基幹システムに対する審査を義務化
セキュリティ基準を満たしたクラウド
サービスであれば低成本で対応可能

現場の動き

大規模システムでは同時刷新が
困難なため第一段階として
インフラのみをクラウド化

コスト削減の観点から
運用管理系の機能に
クラウドサービスを利用



運用ツールも含めてクラウドサービスを利用する企業・組織が増加

ガイドラインおよび法整備によりクラウドサービスの利用が不可欠に
クラウドサービスを活用した膨大な既存資産の運用品質確保が求められる

運用ツールのクラウドサービス活用を進めると運用の再構築が必要

クラウドサービスで再構築後に
従来同等の運用品質確保が必要

従来同等の運用品質確保のために
クラウドサービスに合わせた
既存資産の更新に手間がかかる

既存システム



既存資産

膨大な
改修が
発生



クラウド環境



新たな運用

クラウドリフト後も
従来の運用品質を維持したい

原因 膨大な運用手順、運用定義、運用スクリプトの更新要否の精査や改修が必要

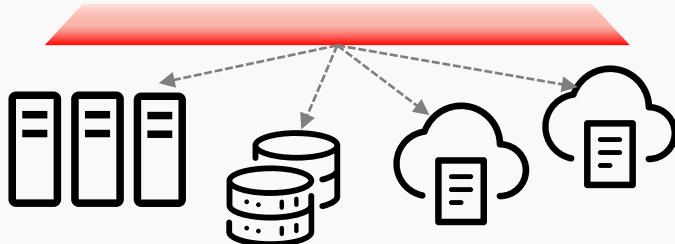
クラウドサービスとして従来の運用ツールを継続利用できることが必要

ミッションクリティカルで豊富な利用実績をもつSystemwalker^(※1)ベースの
オンプレミス・マルチクラウド・ハイブリッドクラウドの統合管理SaaS

マルチ・ハイブリッドクラウドの
運用ライフサイクル・ジョブを
統合管理

クラウドリフト後の
運用品質確保が容易になり
安心・安全な運用を実現

Fujitsu Software Systemwalker as a Service



ISMAP^(※2)
政府システムに要求される
セキュリティ基準を充足



データの所在と主権が
国内のため、他国法の影響を
受けず、安全性を確保



(※1) Systemwalker Centric Manager(運用ライフサイクル管理)、Systemwalker Operation Manager(ジョブ管理)

(※2) 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度(ISMAP)への登録は、現在登録申請中です(2025年9月時点の情報)

Systemwalkerの既存資産の継続利用を支援し、運用品質確保を実現。
加えて、安心安全な運用を支援し、クラウド活用の更なる加速に貢献

■ クラウドリフト後の運用品質を維持するための機能を提供

Systemwalkerマネージャー機能

Systemwalkerマネージャーの既存資産を
クラウドリフト後も継続利用可能にする機能群

統合管理機能



Systemwalker
Centric Managerの
マネージャーを提供

ジョブ管理機能



Systemwalker
Operation Managerの
マネージャーを提供

運用ポータル

Systemwalkerマネージャーの
管理/操作を支援する機能群

Systemwalker マネージャーの管理



マネージャーの
参照、検索

Systemwalker マネージャーの操作



マネージャーに
特定コマンドを実行、
実行結果を確認

■ Systemwalkerマネージャーの統合管理機能およびジョブ管理機能を利用可能

統合管理機能^(※1)

- Systemwalker Centric Manager の以下のマネージャーを利用可能
 - 運用管理サーバ
 - 部門管理サーバ
 - 全体監視サーバ

ジョブ管理機能^(※1)

- Systemwalker Operation Manager の以下のマネージャーを利用可能
 - スケジュールサーバ

■ Systemwalkerマネージャー機能で管理可能な業務環境

Azure

AWS

オンプレミス

(※1)統合管理機能およびジョブ管理機能については、各製品のマニュアルを参照してください。
また、Systemwalker as a Serviceが提供している機能範囲については、Systemwalker as a Serviceの機能説明書を参照してください

運用ポータルの概要

FUJITSU

■ Web UIからSystemwalkerマネージャーの管理/操作を支援^(※1)

一目で把握できる管理画面

- Systemwalkerマネージャーの一覧を確認可能
- Systemwalkerマネージャーの情報を元に部分一致でマネージャーを検索可能
- Systemwalkerマネージャーへの操作を操作タスクとして確認可能

マネージャー一覧画面

サーバ名	種別	IPアドレス	操作
全体監視サーバー	CMGR(全体監視)	10.144.12.111	
部門監視サーバー	CMGR(部門監視)	10.144.12.121	
システム監視サーバー	CMGR	10.144.12.121	
運用監視サーバー	CMGR(運用監視)	10.144.12.121	コマンド操作



コマンド実行画面

コマンド実行

操作タスク一覧画面

実行結果の確認

タスクID	マネージャー	タスク種別	状況	実行日時	終了日時	実行時間	操作
T001	CMGR(全体監視)	Command	Success	2023年10月01日 09:00:00	2023年10月01日 09:00:10	00:00:10	
T002	CMGR(部門監視)	Command	Success	2023年10月01日 09:00:10	2023年10月01日 09:00:20	00:00:10	
T003	CMGR	Command	Success	2023年10月01日 09:00:20	2023年10月01日 09:00:30	00:00:10	
T004	CMGR(運用監視)	Command	Error	2023年10月01日 09:00:30	2023年10月01日 09:00:40	00:00:10	

(※1)運用ポータルの詳細は機能説明書を参照

従来運用を踏襲したコマンド実行

- Systemwalkerマネージャーに対して特定のコマンドを実行可能

Systemwalker as a Service導入事例



某省庁様

政府機関として、大規模システムのクラウドリフト時にSystemwalker as a Serviceを利用
クラウドリフト後の運用品質を確保しつつ、改修コストを局所化

クラウドリフト時にSystemwalkerの継続利用を希望

政府のクラウドサービスの積極利用方針を受け、クラウドリフト時に運用管理のクラウドサービス化が必要。オンプレで利用していたSystemwalkerをクラウドサービスに移行する際の運用品質確保および改修コスト削減のためにSystemwalker as a Serviceを導入。

クラウドリフト時の運用設計において、 Systemwalkerの膨大な既存運用資産の改修コストを削減

Systemwalkerのマネージャー40台をオンプレで利用していたが、既存資産の移行後の運用品質確保にかかる改修コストが局所化

- Systemwalker Centric Managerのフィルタリング定義(約11000件)
- Systemwalker Operation Managerのジョブ(約10000個)



クラウド移行後も同じ運用定義、
運用手順、スクリプトが利用可

運用手順



監視ポリシー



スクリプト



業務カレンダ



運用手順



監視ポリシー



業務カレンダ

運用手順



監視ポリシー



スクリプト



業務カレンダ



Systemwalker
(オンプレ)

Systemwalker as a Service
(クラウドサービス)

導入の効果

膨大な既存資産の改修が不要のため運用品質が確保

Systemwalkerの初期構築費用が98%削減

Systemwalker as a Serviceの商品メニューは4種類から構成されます

導入時に必要な商品

構築サービス

ベース

変更時に必要な商品

構成変更サービス

Systemwalkerマネージャー の種類に応じた商品

運用管理

運用管理、ジョブ管理

全体監視

部門管理

個別の運用要件に応じた商品

スクリプト実行

オンプレミス連携

Disaster Recovery

■ Systemwalker as a Serviceの導入に必要なメニューをご提供

分類	メニュー	用途
導入サービス	構築サービス	Systemwalker as a Service導入時に環境を用意し、お客様がSystemwalkerを利用できるように必要な準備を実施するサービスを提供
基本サービス	ベース	Systemwalker as a Serviceを利用するためには必要なネットワークや運用領域を提供

■ Systemwalker as a Serviceの構成変更に必要なメニューをご提供

分類	メニュー	用途
オプションサービス	構成変更サービス	Systemwalker as a Service導入後に新たにサービスを追加するためのサービスを提供

商品メニュー体系(2/3)

■ Systemwalkerマネージャーの種類に応じたメニューをご提供

分類	メニュー(※2)	用途
基本サービス(※1)	運用管理Standard	Systemwalker Centric Managerの運用管理サーバを提供 監視対象は300台まで
	運用管理Enterprise	
	運用管理、ジョブ管理Standard	Systemwalker Centric Managerの運用管理サーバ、 Systemwalker Operation Managerのジョブ管理サーバを提供
	運用管理、ジョブ管理Enterprise	監視対象は300台まで
オプションサービス	全体監視Standard	Systemwalker Centric Managerの全体監視サーバを提供 複数の運用管理サーバを統合管理するときに利用
	全体監視Enterprise	
	部門管理Standard	Systemwalker Centric Managerの部門管理サーバを提供 運用管理サーバで300台以上を監視するときに利用
	部門管理Enterprise	

(※1)Systemwalker as a Serviceの導入時に必須

(※2)SystemwalkerマネージャーがStandardでは非冗長構成、Enterpriseでは冗長構成で提供されます。

■ 個別の運用要件に応じたメニューをご提供

分類	メニュー	用途
オプションサービス	スクリプト実行	お客様が利用しているスクリプトを継続利用する機能を提供
	オンプレミス連携	お客様のオンプレミス上のSystemwalker Centric Managerの運用管理サーバも含めて統合管理する機能を提供
	運用管理DR	Systemwalker Centric Managerの運用管理サーバのDRを提供
	運用管理、ジョブ管理DR	Systemwalker Centric Managerの運用管理サーバ、Systemwalker Operation Managerのジョブ管理サーバのDRを提供
	全体監視DR	Systemwalker Centric Managerの全体監視サーバのDRを提供
	部門管理DR	Systemwalker Centric Managerの部門管理サーバのDRを提供

以下に従って購入する商品を選定してください

Systemwalker as a Serviceの導入時に
以下の2つを購入

構築サービス

ベース

Systemwalker as a Serviceの変更時に
以下の2つを購入(※1)

構成変更
サービス

Systemwalkerマネージャーの種類に応じて購入(※2)

基本サービスを1つ以上購入

運用管理Standard

運用管理Enterprise

運用管理、ジョブ管理
Standard

運用管理、ジョブ管理
Enterprise

運用管理サーバを
統合管理する場合に購入

全体監視Standard

全体監視Enterprise

運用管理サーバの
監視対象が300台を
超える場合に購入

部門管理Standard

部門管理Enterprise

個別の運用要件に応じて購入

業務環境の運用管理サーバ
と連携する場合に購入

オンプレミス連携

既存スクリプトを
継続利用する場合に購入

スクリプト実行

Systemwalkerマネージャーの
可用性を高める場合に購入(※3)

運用管理DR

運用管理、
ジョブ管理DR

全体監視DR

部門管理DR

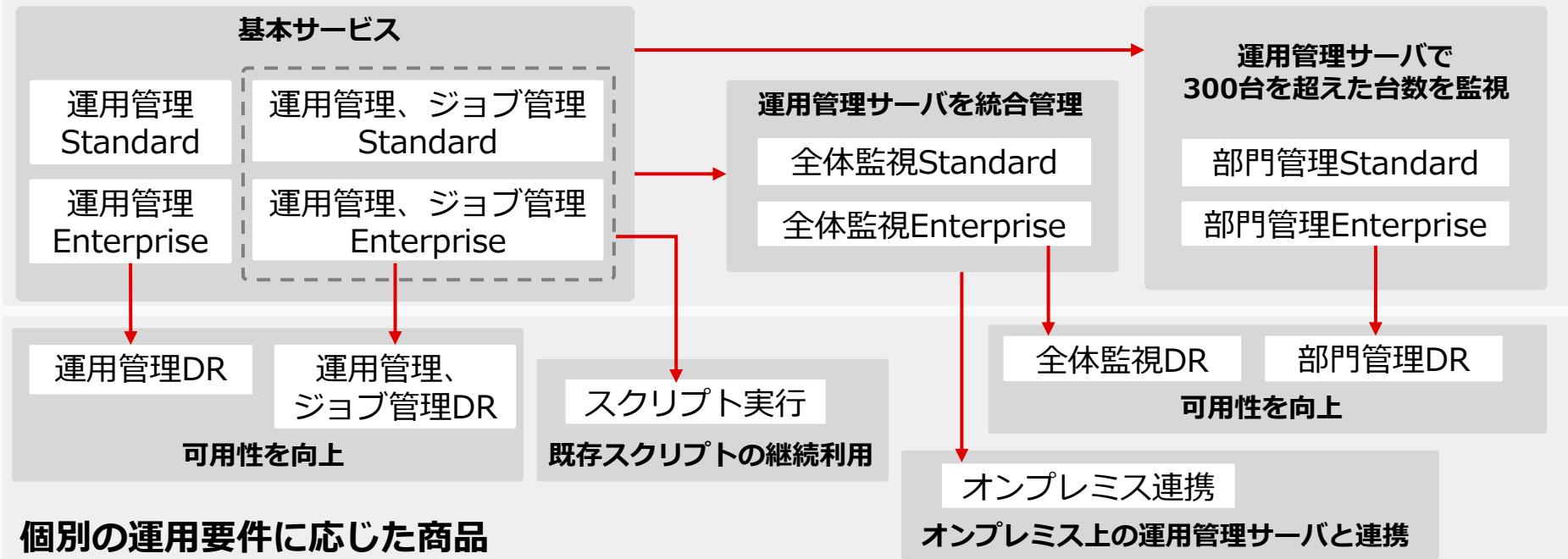
(※1)構成変更の範囲は基本サービスの追加のみ

(※2)Systemwalkerエージェントは別途購入が必要

(※3)DR購入時は、Systemwalkerマネージャー（「運用管理」、「運用管理、ジョブ管理」、「全体監視」、「部門管理」）は、すべてEnterpriseメニューでの購入が必要です。また、これらの商品に対応するDRオプションも合わせて購入してください。

(参考)商品メニューの依存関係

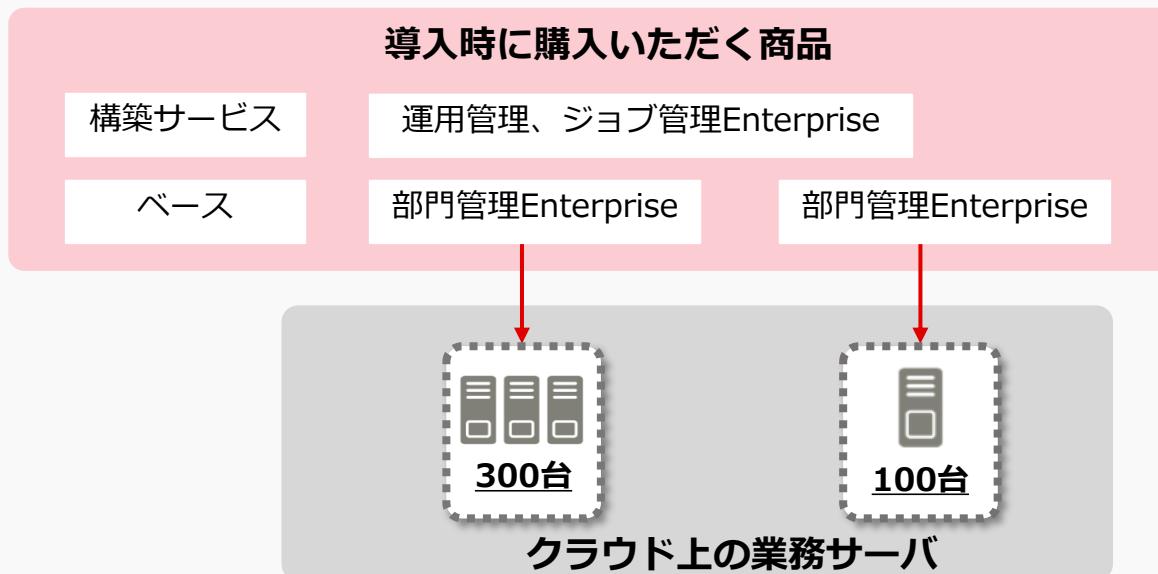
Systemwalkerマネージャーの種類に応じた商品^(※1)



(※1) 赤矢印の前後が商品メニューの依存関係を表しており、例えば運用管理DRには運用管理Enterpriseが必要

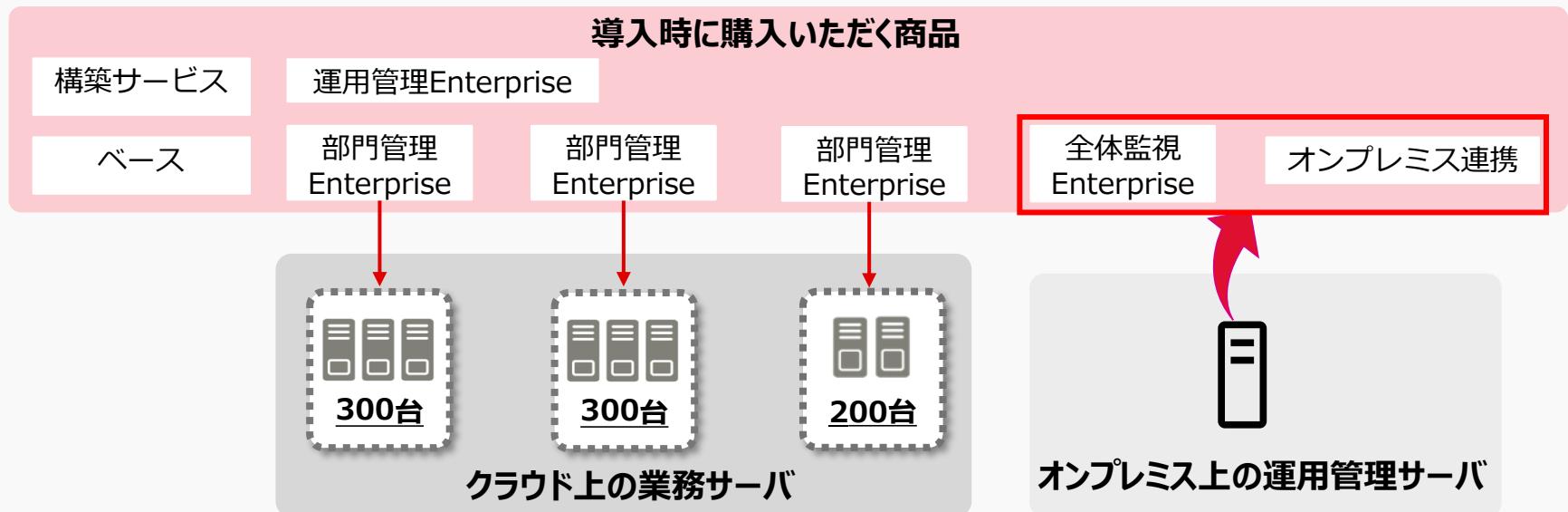
■ 運用管理、ジョブ管理を利用したい場合

- ・ クラウド上の業務サーバ400台を管理したい
- ・ Systemwalkerマネージャーはすべて冗長構成で利用したい



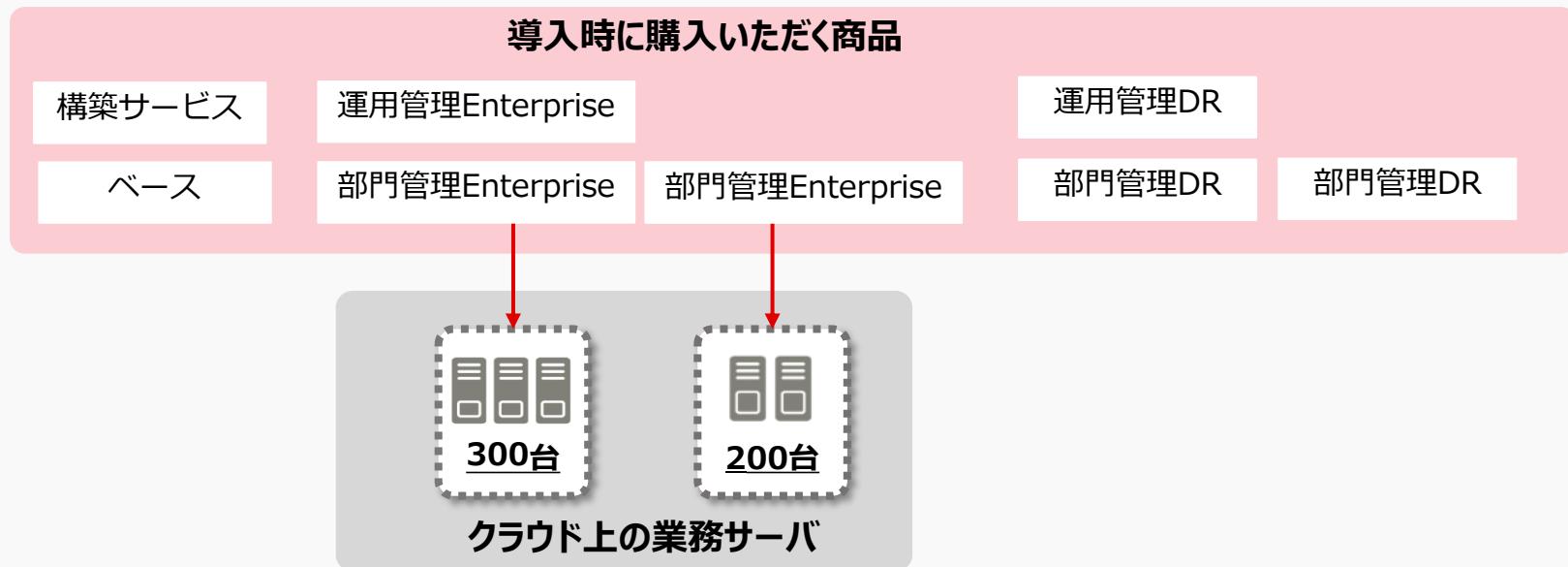
■ オンプレミス上の運用管理サーバも含めて統合管理したい場合

- ・ クラウド上の業務サーバ800台を監視したい
- ・ Systemwalkerマネージャーはすべて冗長構成で利用したい



■ 運用管理を利用したい場合

- ・ クラウド上の業務サーバ500台を監視したい
- ・ Systemwalkerマネージャーの災害対策をしたい



サービス利用イメージ

FUJITSU

■ ステップ1：ご契約と初期設定

サービス契約後、ご利用に向けた事前準備と申請を行います。

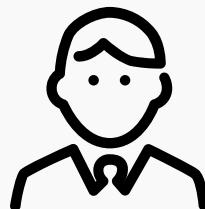
■ ステップ2：サービス利用開始

サービス窓口からの利用開始通知をもって、すぐにご利用いただけます。

利用開始の通知後、サービス利用者は業務環境をSystemwalker as a Serviceに接続可能になります。

■ ステップ3：運用業務をスタート

通知後、貴社の業務環境をSystemwalker as a Serviceに接続。専用クライアントや運用ポータルを通じて、クラウド上での運用業務をすぐに開始できます。



サービス利用者

事前準備と申請

初期ユーザー、
運用ポータル接続先などの
通知

利用開始

サービス窓口

Systemwalker as a Service

- Amazon Web Services、その他のAWS商標は、Amazon.com, Inc.またはその関係会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Azureまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- そのほか、本資料に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

FUJITSU

